

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふぁんたす		
○保護者評価実施期間	2025年12月 13日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年1月 26日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育や障害児者支援の経験があるスタッフが多く、また、スタッフの入れ替わりも少ないので、支援の方向性の共有ができており、一貫した支援を継続して提供することができている。スタッフ個人の強みや得意分野を生かして、支援や活動内容に反映させており、力量のあるスタッフの存在が強みでもある。	法人全体が働きやすい職場環境づくりに力を入れており、離職率が低い。研修の機会を確保し、スキルアップを図れるようにしている。 外部講師による運動指導や音楽療法を取り入れており、子どもたちへの指導に加えてスタッフのスキルアップにつながるようにしている。	スタッフ個人の力に頼りすぎないように、事業所内研修などで、全体でスキルアップできるようにしていきたい。
2	小集団のグループ活動と認知課題学習や宿題、ソーシャルスキル学習などの個別対応のどちらも行っているが、特にグループ活動では、協調性や仲間意識が芽生えていたり、主体的に参加する姿が見られたりしている。そういった気持ちを育てることを大切にしている。	運動や小集団遊び、クッキングなどの活動で、子どもたちの主体性や自己決定を大切に考えて取り組んでいる。チームの中でリーダーを決めて、相談したり協力したりする機会を設け、周囲に気を配ったり相手の気持ちを考えたりすることができるよう意識して支援している。良い面を見逃さないようにして具体的な言葉で評価することを意識している。	活動の目的や目指していることを子どもたちに説明したり、活動後の振り返りを行ったりすることがまだ十分にはできていないので、取り入れていきたい。
3	要望やニーズに合わせた支援が提供できるよう、必要に応じて個別対応も行っている。	保護者や相談事業所からの依頼や相談に対して、丁寧に対応できるよう心掛けている。必要な支援が提供できるように個別対応を含めた支援を組み立てて対応している。相談しやすい関係を構築できるよう普段から子どもの様子や良い面を伝えて共有することを心掛けている。	他の機関と連携を取り、繋げていけるようにする。将来のことも見据えつつ、今、すべきこと必要なことを考えて支援を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ個々の力量に頼っている。スタッフの入れ替わりは少ないが、全くないわけではなく、スタッフが抜けた場合にこれまでできていたことができなくなってしまう可能性がある。	活動内容の大枠は決まっているが、運動プログラム、学習課題の準備など細かい内容は、それぞれのスタッフの知識、技術、力量により保たれている。全ての活動にマニュアルがあるわけではないので、誰に代わっても同じ内容が提供できるわけではないことが課題。	法人内でのスタッフの配置換えは慎重に対応する。スタッフのスキルアップを図れるよう研修参加を促したり、事業所内研修を実施していきたい。
2	非常災害の発生に備えた訓練やその他必要な訓練などについて、通信でお知らせしていることもあるが十分な周知ができていない。	通信は年4回発行で、そこでのお知らせだけでは十分ではない。	連絡ツールであるラインを使用してお知らせすることを検討したい。
3	父母の会の活動の支援、保護者会等は行っていない。保護者同士の交流の機会を持つことについては、今年度はグループに分けて親子行事を行ったが、開催日に都合がつかないなどで参加者は半分程度にとどまった。	契約者数が多く、一度に集まって頂く機会を設けることが難しいので、3つのグループに分けて土曜日や祝日に親子行事を行い、兄弟児も参加していただいたが、他に用事があるなど都合がつかなくて参加できない方が多かった。	行事を企画するためにはスタッフに余力がないとできないので、人材の確保に向けた努力が必要になる。 参観日を行うことで、保護者同士が交流できる機会を持たらよいが、仕事に就いている保護者が多いので検討が必要。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふぁんたす

公表日 2026年3月5日

利用児童数 58

回収数 30/51

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1			・活動ごとに部屋があり十分だと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27			3	・必要な時にお声がけくださり適切だと思います。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	5		2	・バリアフリーかという段階もあるのではがうかなと思います。 ・配慮が適切になされていると思います。	入り口が2か所あり、裏側の入口からの階段に昇降機が備え付けてあります。保護者への周知が不十分で、お知らせしなければいけないと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1		3	・清潔で、子供達の活動に合わせた空間だと思います。	毎日清掃しています。個室が2部屋しかないで、必要な時に使えるように配慮したいです。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1			・いつも楽しく通っています！ ・個別の能力の伸ばす特別な支援というより、集団活動の支援に重点を置いている印象です。 ・いろんな活動を通じて、理解ある専門性のある支援をしてくださっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1		2	・支援プログラムと支援内容は合っていると思います。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1			・いろんな話を聞いてくださった上で作成されていると思います。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2		2	・適切に設定されていると思います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30				・計画に沿った支援をしていただいています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	6			・どちらかという長期休みを省くと固定化されているように思います。 ・毎週いろんな活動をしてくださり、ありがたいです。	「運動、遊び」「クッキング」「運動、クライミング」「買い物」の活動を継続して行っています。運動プログラムや遊びの内容を工夫しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	9	5	10	・直接ではなくても、同じ環境で活動する経験をさせてくださっています。	意図的な機会は設けていませんが、公園遊びなどで交流することがあります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30				・丁寧に説明いただきました。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30				・なされています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3	2	4	・家族も参加できる活動をして下さり、ありがとうございます。	ペアレントトレーニングは行っていませんが、子どもの発達に関連する情報提供や研修の案内は行っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	2			・連絡帳や、迎え時にも情報共有できていると思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1			・迎え時に毎回お話をしているので、満足しています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1		2	・共感的に支援してくださっています。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	7	1	2	・家族も参加できるイベントがあり満足しています。	保護者同士の交流の機会として、グループに分けて親子行事を行い、きょうだいも参加していただきました。保護者交流やきょうだいの支援ができる場を検討していきたいです。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	3	・連絡事もきちんと伝えてくださり安心しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2	1	・連絡帳もあり、迎え時にはいつもお話できているので満足しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	2	1	・まだ、お世話になって間がないのですが、情報発信も適切になされていると思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27		2	・留意されています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	4	・実施されていると思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2	7	・実施されていると思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30			・安全にも配慮してくださっていると思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26		4	・いつも速やかに伝達されていて安心しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30			・毎回楽しみに通っており、ありがたいです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30			・小学生から中学生になっても、毎回楽しみに通わせてもらっています。 ・とても楽しみにしています。 ・お友達もでき、先生方も優しいので、ありがたいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29		1	・楽しかった！と毎回帰ってくるので、先生方には感謝の気持ちいっぱいです。いつも、ありがとうございます。これからも、親子共々よろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふあんとす		公表日		2026年 3月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		基準よりも広いスペースを確保していますが、運動スペースがもっと広い方が望ましく、公園遊びや体育館を利用する機会を持つなどの工夫をしています。	事業所以外でも安全に活動できる場所があれば、利用していきたいです。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準に基づいて配置しています。	人材確保に努めているところです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		正面玄関でない方の階段に昇降機を設置しています。フロアはバリアフリーになっています。	活動室の音が反響しやすいです。うるさい音が苦手な人は個室やイヤーマフを提供して対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔を心掛け、毎日清掃しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個室の使用は自由にできるようにしています。希望に沿って配慮しています。	個室として使用できる部屋は相談室を含めて2部屋です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		人事考課制度を導入し、常勤スタッフは目標設定、振り返り、面談を行い、スキルアップ、業務改善に取り組んでいます。また、事業所会議で意見交換して業務改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者アンケート調査を実施し、意見や要望などを確認しました。今後の業務、支援の改善につなげています。	実施した保護者アンケート調査の結果を今後の業務、支援の改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		面接を年2回行っています。会議や日常活動の振り返りでも意見を伝える場はあります。	全スタッフがお互いに意見を言いやすい環境になっていければ良いと思っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価について法人として検討しているところです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		資質向上のため等の研修について、法人内研修を開催するとともに外部の研修に参加する機会を設けています。また、自主研修制度を設けており、研修会の案内をして、参加を勧めています。	支援時間にスタッフを確保するために、希望する研修全てに参加することは難しい状況があります。時間や気持ちにゆとりがないこともあり、自主研修制度の利用は少ないのが現状です。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成し法人HPにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		契約時に保護者から聞き取りした内容や記入していただいたフェイスシートを基にニーズや課題の把握に努め、支援計画に反映させています。個別面談などで子どもの様子を共有し、ニーズや課題を把握して支援計画に反映させています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画作成のための会議を行い、全てのスタッフで検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ間で共有し、計画に沿った支援が提供できるよう努めています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		初回利用の前に、ヴァインランドⅡを使用して保護者に聞き取りを行い、適応行動の状況を知り、個別支援計画に反映させています。日々の行動を把握しスタッフ間で共有して、対応を協議しています。	ヴァインランドⅡによるアセスメントを十分活用できているとは言いきれない所はあります。ヴァインランドⅡの研修があれば参加し研鑽していきたいです。そのほかに適切なアセスメントツールがあれば検討したいです。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」について、支援計画において、目標や支援内容を設定しています。	「移行支援」や「地域支援・地域連携」が適切になされるように努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ間で意見交換する機会を持ちながら、活動プログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定して行う活動もありますが、クッキングメニューや運動や遊びの内容をスタッフで協議して行っています。長期休暇中には外出や野外活動、昼食の調理などを取り入れています。子どもの意見や提案を取り入れるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもたちそれぞれの課題に沿って、支援計画を作成しています。学習やソーシャルスキル学習等の個別活動と運動、クッキング、遊びなどの集団活動を組み合わせて支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		受入れの準備をしながら、打ち合わせを行い、内容や役割分担などについて確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、振り返りと記録整理をスタッフ全員で行い、気付きや次回への向けての確認事項などを共有しています。子どもの姿で課題だけでなく、良かったことを共有できるように意識しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録、業務日誌、日案、振り返りを日々記録し、次回の支援に生かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回、モニタリングと支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		「①自立支援と日常生活の充実」「②創作活動」「③地域交流の機会の提供」「④余暇の提供」の4つの基本活動を複数組み合わせ、主に、調理や買い物、集団活動、運動、社会体験などを行っています。創作活動は余暇時間に行うことが多いです。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択、自己決定を大切に支援しています。買い物活動、おやつも目的の中に選択と決定が含まれています。その他、意見を出し合って決める場面も意図して設けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者又は、子どもの状況を把握しているスタッフが参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を取るようにしています。	主治医と直接連携を取るケースは限られています。保護者を介して情報共有することの方が殆どです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		電話連絡にて必要な情報共有を行っています。行事や下校時間については保護者を通じて確認していますが、ホームページを参考にすることもありました。授業見学や送迎時等に情報共有する等して連携を取っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所と連携を取り、情報共有しました。今後も連携を取っていきたくと考えています。	保育園や幼稚園と連携を取ったケースはありませんでした。必要があれば連携を取っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行支援会議に於いて利用時の様子や支援内容、課題、対応方法などについて情報提供を行いました。	

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター主催の研修に参加し、その内容を全スタッフで共有しています。	今後も研修の機会があれば参加したいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	意図的な交流は行っていませんが、公園遊びなどの活動で、一緒に遊ぶことはあります。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		今年度は福山地区放課後等デイサービス連絡協議会の推薦で委員になり発達支援部会に参加しました。誰でも参加できるわけではなく、それぞれの立場の代表として参加するので、福山地区放課後等デイサービス連絡協議会の代表者が参加しており、情報提供は受けています。	誰でも参加できるわけではないので、来年度は参加する福山地区放課後等デイサービス連絡協議会代表者からの情報提供を受け、協議内容を共有していきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		迎えにこられた時や送迎時に状況を伝えるようにしています。課題や心配ごとなどがあれば、連絡帳に記入していただいたり電話やLINEで連絡を頂いたりして、共通認識を持つようになっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援方法や保護者向け研修会などの情報提供を行うようになっています。	ペアレントトレーニングは行っていません。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に資料をもとに説明しています。	一度に多くのことを伝えるため、十分伝わっていないことがあるかもしれません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年ごとに事後評価を作成し、保護者に説明した上で、意向や希望を確認しています。保護者を通じて子どもの希望を確認することもあります。直接、希望を聞くこともあります。普段から意見や希望を聞く機会を持つようになっています。	子ども自身が、自分の思いや希望を言葉で表現することが難しい場合が多いので、引き出したり、涙み取ったりしていく力が求められると思っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成した個別支援計画を示して、支援内容などの説明を行い、同意を得ています。	お迎えに来られた時や送迎時に悦明することが多いので、十分な説明ができていないことがあるかも知れません。できるだけ丁寧に説明するように努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった時には電話や面談で話を伺い、できる範囲での助言と支援をしています。相談しやすい場所となるよう心掛けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者参加行事を企画し、参加していただいた利用児童、保護者、兄弟児と交流する機会を持ちました。3つのグループに分けて3回実施しました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決体制を整備し、重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。苦情があった場合には適切に対応していくことにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所の通信を年4回、法人の会報を年4回発行しています。活動予定は毎月配布しています。行事がある時には案内を配布しています。	活動の様子を定期的にLINEでお知らせすることが今年度はできませんでした。活動時の子どもの様子を写真に撮って画像で送っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の管理には十分注意しています。写真や名前の公開については、『個人情報の取り扱いについての同意書』を交わし、その内容に基づいて配慮して行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて構造化や視覚支援を取り入れ、わかりやすい説明を心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		○	法人全体では4月に地域の方に来ていただく行事を行いました。	事業所独自では地域の方に参加していただく行事を行っていません。会社や倉庫が多い立地ということもあり、今後も難しいので、法人全体の行事として取り組んでいきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		災害時、防犯、感染症、急変時等の対応を「緊急時における対応について」と題した文書にまとめて、保護者に配布しています。また、その内容をスタッフ間で共有しています。災害を想定した訓練は行っています。	マニュアルについて、修正が必要な箇所がないか再確認して、再度配布したいと思っています。事故や防犯の訓練は行っていないので検討したいです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、研修及び机上訓練を行いました。火事の退避訓練、地震、津波の場合の退避訓練を利用児童と一緒にしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬やアレルギー、てんかんについては契約時の聞き取り時に伺い、フェイスシートに記入して頂くようにしています。	予防接種の確認はしていません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		フェイスシートにアレルギーについて記載して頂くようにしています。また、保護者からの指示により対応しています。	医師の指示書を頂くようにはしていませんが、医師の指示に基づいた保護者から指示、依頼による対応をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画に沿って研修、訓練を行っています。	引き続き安全に留意して支援を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時の連絡方法などについてはお知らせをしています。	まだ周知が充分とは言えない面もあるので、引き続き周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ひやりはつと事例報告書を作成し、その都度、対応や改善策について検討し、共有しています。また会議において再確認しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内で研修や外部の研修に参加しています。虐待防止委員会事業所部会を開設し、定期的に会議を行っています。	引き続き、虐待防止、身体拘束適正化のための研修を行い、適切な対応をしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		重要事項説明書、個別支援計画に身体拘束を行う場合について記し、説明しています。基本的に身体拘束は行いません。タイムアウトとして落ち着くために別室で過ごすことはあります。どういう状況で行うかスタッフ間で共有しています。外から鍵をかけることはありません。		